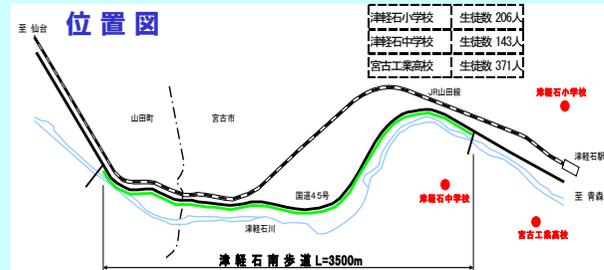


一般国道45号 津軽石南自歩道

整備概要

- 通学路に指定され、小・中・高生が日常的に利用。
- 未歩道区間であり、自動車と歩行者・自転車の接触の危険性がある。(車両平均速度は53.8km/h)
- 歩道を整備することにより、安全で快適な歩行空間の形成を図る。
- 歩道幅員3mの自歩道を片側に設置。

位置図



整備前の状況



整備後の状況



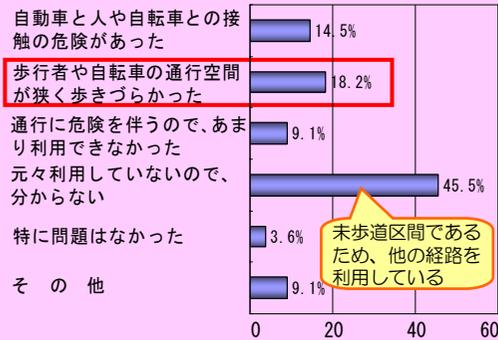
整備前の状況

■ 整備前における歩行者の意識は、「歩行空間に狭小感」を持っており、運転者の意識は、「歩行者・自転車の突発的な出現に対する危険性」を感じていた。

<利用者アンケート>

歩行者全体

整備前の状況



運転者

走行時の不安感や緊張感の理由



■ 道路利用者の視点に立った整備効果の検証

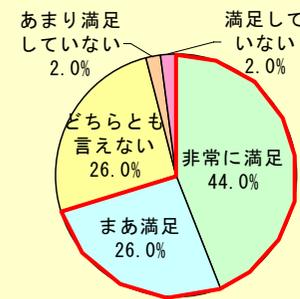
■ 歩道整備の評価手法として、歩行者やドライバーを対象としたアンケート調査を実施。

整備後の評価 (利用者アンケート)

- 歩行者および運転者の約7割が整備効果を実感している。
- 歩行者は、通行の安全性、歩きやすさの向上を評価している。
- 運転者は、接触の危険性の減少により、不安感・緊張感が緩和し、走りやすくなったと評価している。

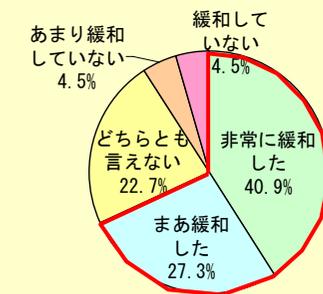
歩行者全体

整備後の満足度

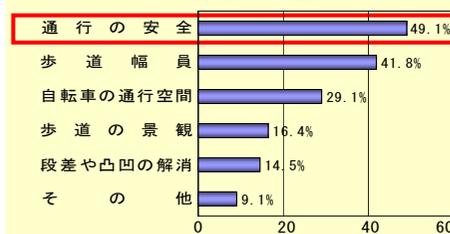


運転者

不安感や緊張感の緩和



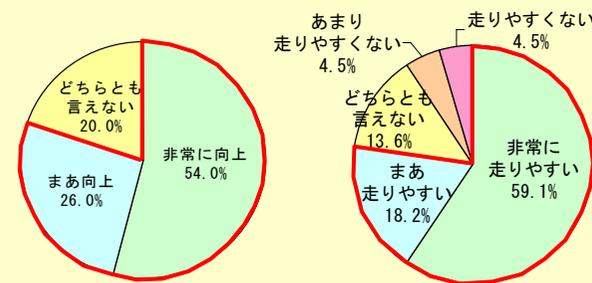
満足度の理由



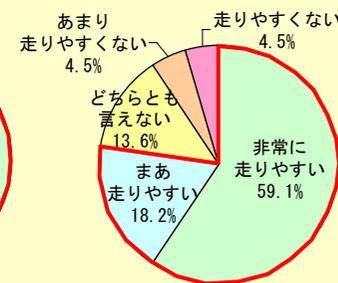
不安感や緊張感の緩和の理由



歩きやすさの向上



視線誘導などの走行の安定



【利用者アンケート】

- 実施時期 平成17年11月
- 実施対象 通学児童、沿道住民、一般ドライバー
- サンプル数 (歩行者) 55 (運転者) 23